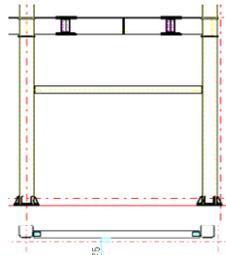


# 耐風梁を入りたい！ 側面で梁入力します。

耐風梁を配置する通り軸の側面図を開いて入力します。

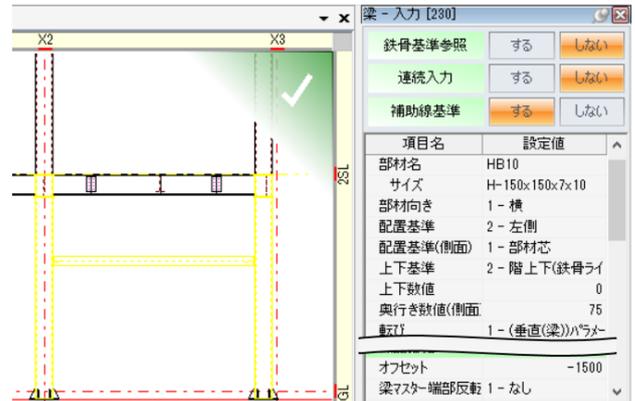


例) 通りから Y 方向に 75 入った位置が梁面、2SL から横使い梁芯 1500 下がりの耐風梁を配置する場合

【梁】 - 【入力】 をクリックします。

入力シートで下記設定をします。

- 部材向き：横
- 奥行き数値(側面)：75
- 配置基準：2-左側
- オフセット：-1500
- 配置基準(側面)：1-部材芯

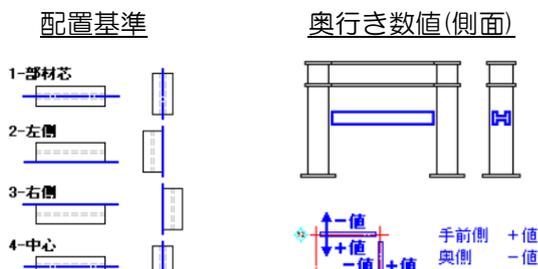


耐風梁が接続する柱と柱をクリックし、高さの基準となる階高ライン (2SL) の順にクリックし、配置します。



### ＜側面梁入力での奥行き考え方＞

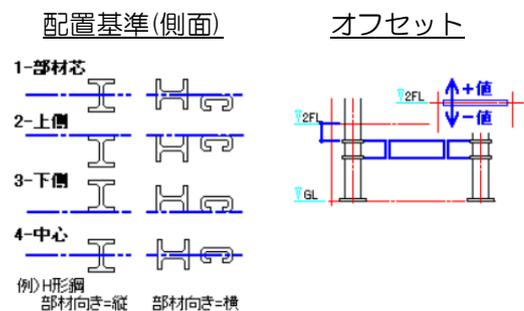
配置する通り軸から配置基準の距離になります。



### ＜オフセット(梁の上下数値)時の高さ基準＞

オフセット入力した際の梁の高さ基準位置は

【配置基準(側面)】を参照します。



### ＜平面で耐風梁を入力する場合＞

側面入力では【オフセット】で梁の上下数値を調整しますが、平面入力では【梁上下】で調整します。

平面入力時のオフセットは、配置基準からの平面的なずれ量数値を設定し、奥行き数値は平面入力時には無効です。

今回の入力を平面入力で行う場合、下記設定で配置します。

- 部材向き：横    配置基準：2-左側    配置基準(側面)：1-部材芯    上下数値：-1500
- 奥行き数値(側面)：0    オフセット：0

